
オールインワン型 IC クレジットカード決済処理端末「eZ PAD」発売

オムロンソフトウェア株式会社（本社：京都市下京区、代表取締役社長：武村 賢治）は、訪日外国人の増加に伴うキャッシュレス決済需要の高まりや、カード偽造などの不正に対応する、IC クレジットカード決済処理端末「eZ PAD」を2017年3月より発売します。「eZ PAD」は、クレジットカード情報および取引情報を保護する国際規格（PCI-PTS※1、EMV※2等）に対応し、磁気クレジットカードから IC クレジット、非接触電子マネー、非接触クレジット（EMV コンタクトレス）まで各種決済処理を実現するオールインワン型端末です。

オムロンソフトウェアは、「eZ PAD」を2017年3月7日(火)から10日(金)まで、東京ビッグサイトで開催される「リテールテック JAPAN 2017」に展示します。

2020年の東京五輪開催に向け、更なる訪日外国人の増加が期待される中、流通業の小売店舗を中心にキャッシュレス決済の利用拡大が見込まれています。また、2016年にカード偽造などの犯罪防止・不正防止を目的として割賦販売法が改正され、店舗でのクレジット取引は2020年までにIC化の対応が義務化されています。こうした変化を背景に、安心・安全なキャッシュレス決済が利用できるインフラ環境と国際水準を満たすセキュリティ環境の整備が急務となる中、小売店のPOSシステムでのIC化対応は、諸外国に比べて遅れているのが現状です。

今回、オムロンソフトウェアは長年培ってきたクレジットカード決済端末開発のノウハウを活用しEMV 認定製品をパッケージとして提供致します。これによりPOSシステムの改修の費用や時間を抑え、速やかなIC化対応を可能としました。更に一体型端末「eZ PAD」は低価格かつコンパクトサイズを実現しました。

今後、国際規格PCI-PTSのセキュリティ要件であるSRED※3及び、加盟店のセキュリティ規格対応を軽減するP2PE※4にも対応していきます。

オムロンソフトウェアはこれからもキャッシュレス決済に関わる様々な機器とサービスの品揃えを強化することで、人々の暮らしを安心・安全でより快適にしていくことに貢献します。

<主な特長>

- ・オールインワン
磁気クレジット/IC クレジット/非接触電子マネーから今後拡大が見込まれる非接触クレジット（EMV コンタクトレス）まで対応可能。磁気はJIS I /JIS II 両面同時読み取り。
- ・オールインワン型としては国内製最小サイズ（※弊社調査）
- ・有線/無線モデルを有し、各店舗の利用形態を選ばない。
- ・新たなセキュリティ要件であるSRED/P2PEに対応予定。

<商品提供価値>

- POS システムの開発負担を低減できるよう、業界標準のインターフェース（OPOS 仕様準拠）に対応したミドルウェアを含めて提供。
- EMVL1/ L2 及び PCI-PTS 認定取得済のパッケージとして提供する為、POS システムでの EMV 認定取得の手間を大幅に軽減。

※1 PCI-PTS とは、PIN(暗証番号)を入力する装置に関する国際的なセキュリティ規格

※2 EMV とは、IC カードを用いたカード取引のための、IC カードと端末に関する国際規格

※3 SRED とは、カード会員情報を読み取った直後にそのデータを暗号化してセキュアに転送する等の PCI-PTS セキュリティ要件

※4 P2PE とは、ポイント・ツー・ポイント（2 地点間）の暗号化に関するセキュリティ仕様

<外観>



以上

<オムロン ソフトウェア株式会社概要>

本社：京都市下京区塩小路通堀川東入
社長：武村 賢治
資本金：3 億 6000 万円
売上高：143 億 1000 万円（2016 年 3 月期）
URL：<http://www.omronsoft.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ>

■報道関係のお問い合わせ先

オムロン ソフトウェア株式会社
経営企画部 広報担当 中村・猪口
〒600-8234
京都市下京区塩小路通堀川東入
TEL:075-352-7400 FAX:075-352-7210
e-mail：osk-pr@oss-g.omron.co.jp

■一般のお客さまからのお問い合わせ先

オムロン ソフトウェア株式会社
決済ソリューション事業部
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷 2-14-18
あいおいニッセイ同和損保渋谷ビル 7F
e-mail：rs-inquiry@oss-g.omron.co.jp